12月定例市議会
（会期：12月6日～20日）

平成30年度一般会計補正予算などを可決

12月定例市議会が12月6日に招集され、20日までの15日間の会期で開かれました。上程された議案は、本荘由利地域定住自立圏の形成に関する協定の締結や、平成30年度一般会計補正予算および特別会計補正予算など21件と報告2件です。
すべて原案のとおり可決されました

上程された主な議案

◇職員の給与に関する条例の一部改正

秋田県人事委員会の勧告に準じて、一般職の職員の勤勉手当の支給率を0・1カ月引き上げるため、条例の一部を改正するものです。

◇にかほ市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

◇にかほ市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

一般職の職員の給与改定に準じて、勤勉手当の支給率を0・1カ月引き上げるため、条例の一部を改正するものです。

◇にかほ市過疎地域自立促進のための固定資産税の課税免除に関する条例制定

過疎地域自立促進特別措置法に規定する過疎地域に該当した本市における産業を振興させ、経済の活性化および雇用機会の創出を図るため、条例を制定するものです。

◇本荘由利地域定住自立圏の形成に関する協定の締結

定住自立圏構想推進要綱に定める定住自立圏形成協定を、由利本荘市とにかほ市との間で締結するものです。

◇平成30年度一般会計補正予算（第7号）

歳入・歳出ともに8、686万4千円を追加し、総額は139億7、576万3千円となります。

補正予算の主な歳出は、障害福祉サービス費3、298万1千円、福祉医療費1、000万円、機構集積協力金交付事業交付金945万6千円、株式会社プレステージ・インターナショナル新拠点施設建設に係る用地取得費等6、687万3千円、工業振興条例補助金684万1千円の追加・増額などです。

主な市政報告

◇市税の状況

10月末における現年課税分の調定額は、個人市民税が約10億1、970万円で、予算額に対して約270万円（0・3％）の減となっていて、法人市民税も約8、750万円で、現段階で予算額を約4、010万円（31・4％）下回っていますが、今後の予定申告等の状況などから、決算においては、予算額と同程度まで推移するものと見込んでいます。

また、固定資産税は約14億2、220万円で、予算額に対して約8、850万円（6・6％）の増となっていて、収入額においても、予算額を5、000万円程度上回るものと見込んでいます。

◇雇用状況

ハローワーク本荘管内の有効求人数は、昨年同期より373人増加の2、194人、有効求職者数は、昨年より84人少ない1、378人となっています。また、有効求人倍率は、当面高水準を維持するものとみられ、慢性的な人手不足により、企業の事業活動への影響が懸念されています。

◇高校生に対する求人・内定状況

来春に卒業予定の本市在住高校生196人の内、就職を希望している生徒は、県内58人、県外19人の計77人（39％）となっています。

10月末現在の内定者は、全体で55人（71％）となっていて、県内（13社）46人、県外（9社）9人で、県内の内、にかほ市内への内定者は（10社）28人となっています。

◇移住・Uターン促進事業

10月末現在、本市への移住希望登録数は、累計で105世帯となっていて、今年度新たに、市の定住奨励金等の支援を受けた11世帯29人が市内に移住しています。

官民一体で移住・Uターン促進事業に取り組むことを目的に、4月に設立された「にかほ市移住・Uターン推進協議会」の事業として、9月23日と24日、東京都で「にかほ移住&就業相談会」を開催しました。

また、11月23日と24日には、秋田県の主催による「美の国あきた・プロモーション・in大阪」が開催され、本市もブースを出展し、市特産品の試飲・試食、観光宣伝や移住情報の提供を交えながら、「食と観光と暮らし」に関するPRを実施しました。

◇株式会社プレステージ・インターナショナル新拠点誘致計画

7月の臨時議会において補正予算が議決され、用地測量・調査・設計に係る委託業務を進めると共に、地権者への説明会や境界確認、開発行為申請への同意書調印等を実施しました。

測量調査により、土地造成に必要な用地面積は、農道や水路の付け替え等も含めて約2万8、700平方メートルと積算され、地権者に提示した用地の取得単価についても、理解が得られたことから、今回、用地取得費等を補正予算に計上しています。

◇農業

今年の稲作は、穂数、籾数が平年より少なく、作況指数は県中央部で「96」の「やや不良」と、低い作況となりました。これは、6月の低温や日照不足と、登熟期における昼夜の温度差の無い異常高温やフェーン現象等の影響によるものです。

11月8日現在、JAの集荷数量は、にかほ市全体で昨年同期より約178トン少ない約5千504トン、一等米比率は約12ポイント高い95・3パーセントとなっています。

◇象潟・前川地区基盤整備事業

基盤整備事業につきましては、5月に推進協議会を発足し、事業説明会を開催しましたが、協議会員のご尽力により、100％の同意を得ることができました。

これにより、事業実施に向けて10月15日には協議会から市に要望書が提出され、市では、事業採択に向けて11月12日に、秋田県に対し申請書を提出しています。

◇ガス事業の民営化

6月25日に第1回にかほ市ガス事業譲渡先選定委員会を開催し、募集要項等について意見や提言などをいただき、その後、東北経済産業局との協議を経て、7月16日に業界新聞、翌17日には市ホームページを通じて公募を行いました。

その結果、2事業者から応募があり、10月2日の第3回選定委員会の資格審査で双方とも第1次合格者となり、10月24日と25日には現場説明会を行っています。

今後の予定としては、1月中旬に事業提案書等の提出を受け、2月中旬から下旬の第2次審査において最優秀提案者を選定し、その審査結果を踏まえ、市が優先交渉権者を決定した後、基本協定と事業譲渡仮契約を締結します。そして、市議会の承認をいただいた後に本契約となり、移行準備に取りかかることとなります。

引き続き、市ホームページ等で随時、進捗状況をお知らせしながら、32年4月1日からの民営化を目指します。

主な教育行政報告

◇にかほ市公開授業研究会と県外からの研究視察等

今年度も大阪狭山市から教員2人が本市を訪問し、11月5日から9日までの5日間、平沢小学校と仁賀保中学校に勤務し、両校の教員と同様の活動をしながら、本市の教員の授業づくりや学級経営、さらには学校組織の在り方などを実際に体験しました。特に、子ども主体の授業づくりに深く感銘を受けていました。

◇フェライト子ども科学館リニューアル

今年度、フェライト子ども科学館が開館20周年を迎えることから、施設の一部をリニューアルします。

リニューアルする主な箇所は、「ファンタジーシアター」「風のワンダータウン」「実験コーナー」の3箇所で、1月16日から3月20日まで工事が行われる予定です。